

EA115GA-1A～EA115GA-32A(フレキシブルシャフト)

使用の準備と保管について

フレキシブルシャフトにはしっかりと管理とメンテナンスが必要です。
下記、注意内容をしっかり確認の上、ご使用下さい。

1. 使用前にシャフトを伸ばして下さい。
輪になっていた、曲がっている部分を解き、伸ばした状態にして下さい。
曲がっている部分や輪っかの部分が多いと、ワイヤー同士が擦れ合うことにより、シャフトの内部摩擦が増えます。摩擦はワイヤーの摩耗を早め、脆くなります。
2. チューブ内径より大きな先端ブラシを使用して、フレキシブルシャフトに負荷をかけすぎないで下さい。
清掃するチューブ径にあったフレキシブルシャフトを必ず使用して下さい。
また、非鉄金属(銅、真鍮など)のチューブにはステンレスブラシを使用しないで下さい。
3. チューブにシャフトを送り込む時は目を離さないで下さい。
シャフトが、らせん状になった時はシャフトが過負荷状態になっています。
その際は一回り小さいサイズのブラシに変更したり、ブラシをきれいに洗浄するか、又はゆっくりとチューブにシャフトを入れるようにして下さい。
決してシャフトを力まかせにチューブにつっこまないで下さい。
4. 洗浄するチューブが床面に近い時は、本体を横にして下さい。
本体を出来るだけ後方に置いてから作業して下さい。
また足場など狭い場所で作業をする時は、平面に本体をまっすぐ立て、シャフトの余った部分を紐等でまとめてから、ご使用下さい。
5. ブラシなどの先端部分を、チューブの反対側から完全に出しきらないようにして下さい。
伸び出したフレキシブルシャフトはチューブの端(尖った角)に当たり、シャフトワイヤーを破損させてしまう恐れがあります。ご注意ください。
6. シャフトの保管は特に重要ポイントです。
メッキされたシャフトはサビ防止剤を施していますが、使用によって防止剤は落ちていきます。
シャフトを使用しない時は完全に乾燥させてください。
その後乾燥させた状態で、シャフトに潤滑油を供給します。再度シャフトを使用する時、機械が作動すれば水とともに、余った余剰油は吐き出されチューブの外に出ます。